

藤棚新聞



第59号
2018年(平成30年)
4月20日
偶数月発行
フリーペーパー

歴史をもつ銭湯 西区に残したい5軒

開港とともに横浜に多くの人々が移住してきました。それに伴い銭湯も新開地に進出してきました。そんな中、大正12年9月関東大震災があり壊滅的被害を受け、多くの銭湯が消失しましたが、国、県、自治体が銭湯の設置に力を入れ、中には100人は入れるほどの銭湯もありました。この震災を契機に市浴場組合連合会が結成され、同業者間の連携を強め、経営方法や料金について話しあいました。

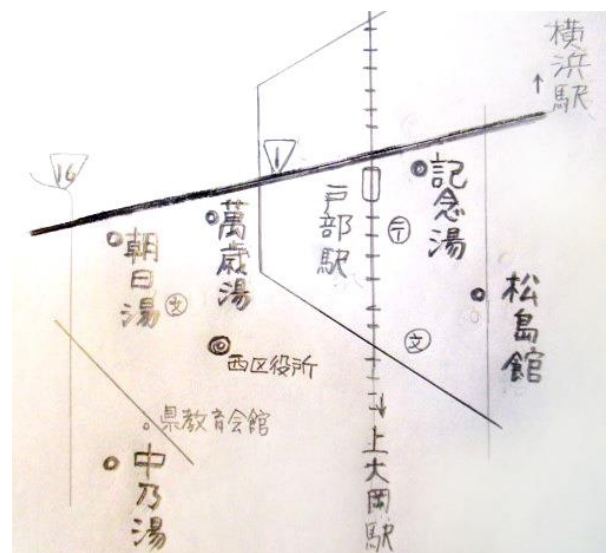
その中心になったのが新潟県や石川県の北陸出身者です。この人たちは出稼ぎで東京や横浜へ出てお金を貯め、その資金で銭湯の経営に携わり、さらに仲間を増やすために故郷の新潟県に行って募集広告したり、新潟県人会名簿を作成して連絡を取ったり、石川県県人会名簿から全国にいる経営者の所在を確認し、連絡を



取りあっていました。経営が成功した際には、「いつでも故郷は忘れないよ」という意味を込めて、故郷の神社に鳥居、灯籠、狛犬、門柱等を寄進したそうです。

かつての銭湯は共同住宅に住む労働者やその家族、学生で賑わい、地域のコミュニケーションの場として利用されてきました。また、人々の公衆衛生や健康的な生活に貢献するという最も大事な役割がありました。破風造りの建築、番台、ペンキ絵に象徴されるように、ただ懐かしいというだけでなく、銭湯を昭和の文化遺産として地域の中で残しておきたいものです。昭和43年に33軒あった西区の銭湯は現在5軒が営業を続けています。みなとみらいの観光スポットを走ってきたあとに入るランナーもいれば、体験入浴する多くの幼稚園児がいます。それぞれに楽しい企画で利用者が増えることを期待します。

- ・ 記念湯 戸部本町 45-4 045-322-6244
- ・ 萬歳湯 中央 1-23-3 045-321-2879
- ・ 朝日湯 中央 2-44-6 045-321-5472
- ・ 松島館 戸部町 4-166 045-231-7435
- ・ 中乃湯 藤棚町 2-197-37 045-241-2959



第6回 こども笑店街がやってくる!

地域のこどもたちだけではなく、おともも楽しみになって

てきている、第6回こども笑店街が、5月13日(日)11時~15時にふじだな1番街と西前中央商店会で開催されます。

今ではすっかり定番になっているFREEDOMSのストリート・プロレス、じゃんけん大会やミニバスなどなもりだくさん。こどもマルシェでは、こどもが働いた証明実績を会場でのお金「フジ」に交換してお買い物ができます。



写真右上は、去年のこどもマルシェの会場でお金の「フジ」を受け取るこどもと「フジ」

新一年生のための勧学祭 —— 杉山神社

3月31日(土)に杉山神社で、新1年生として入学する子どもたちのための勧学祭が催されました。103名の申し込みがあって、当日はその内およそ80名と地域の人たちが参加しました。下の写真のように学業が進むこと、交通安全そして楽しい学校生活が祈念されました。



○この日のこと

- ・神様にお祈り
- ・戸部警察署のおまわりさんから、交通安全のお話
- ・神様の話
「因幡の白ウサギ」デジタル紙芝居
こどもたちは、最後にランドセルのお守りももらいました。

さくらまつり



4月7日には藤棚商店会で、さくらまつりが開催されました。

商店街の道はたくさんのお客さまであふれんばかりになりました。



藤棚一番街に
新しいお店

藤棚デパートメント

4月14日、藤棚1番街に地域の人たちが使えるキ

ッチンとレンタルスペースのお店「藤棚デパートメント」が開店しました。

代表の永田賢一郎さんは、「交流のための場を提供したい。店舗を開こうとする人の腕試し、会合や販売に使ってほしい」といいます。

連絡先：TEL: 080-3514-8090

メール: info@fujidanadp.com



ガラス工芸 森田 順子

今回は23年の間、ガラス工芸「ハンドグラヴィール」をされている森田順子さんから下記の寄稿をいただきました。森田順子さんは、1995年1月に「vitorier」横浜駅東口校を開校しています。

ハンドグラヴィールとは、ガラス食器(ワイングラスやプレートなど)に、歯医者さんや歯科技工士さんが使うリユーターという高速回転する小型のペン状の機器にダイヤモンドポイントを付けて、ガラスに繊細なデザインや文字を彫り込む技法です。グラスリッチェンと勘違いされてしまうことも多いのですが、ガラスを深く彫り込んだり、シリコンで磨くことも可能なので、それぞれの技法でデザインの魅せ方が異なってきます。



前職はリクルートでスクールの広告制作をしていました。その中で各種クラフトスクールの講師の方々がキラキラしていて、気がつけばガラス工芸の講師への道を歩み、翌年スクール開校をしました。

NHK テレビでの放映やCLASSY. (クラッシー・光文社)の編集記事の掲載から、北海道のスクールへも定期的に行っていた時代もありましたが、今、一番大切に思っていることは、西区高島でのスクールのみなさまとモノづくりの楽しさを共有して、ひとつひとつの作品を心を込めて制作していくことです。

また西区街の名人・達人にも登録しましたので、にしとも広場(西区役所内)などでもセミナー開講予定です。

★スクール：西区高島2-6-38 岩井ビル3F

★ホームページ：vitorier.jimdo.com

★Facebook：[vitorier 森田 順子] で検索

シネマノヴェチェント映画会

4月7日、藤棚にお住まいの黒沢博さんと、もうひとりの主役である竹内晶子さんが組んだ映画「30年目の本気〜いい歳こいてロックンロール」が上映されました。

この映画は藤棚商店街を舞台にして、歌の指導者の黒沢さんが、エレクトーン奏者の竹内晶子さんをリーダーとする歌のグループを指導して発表にいたるまでを描いています。竹内晶子さんは、先輩から『自分が発した言葉は自分だけのものではない』といわれたそうです。



上映後の、ふたりの主役による“トークショー”
黒沢博さん(右)と
竹内晶子さん(左)



スプリングガーデンフェア2018

横浜イングリッシュガーデンでは、ローズトンネルの下に小川のせせらぎが聞こえてきそうな約50メートルの花壇が出現しました。バラが咲く前のローズトンネルは春の花であふれています。

会期は3月17日(土)～5月6日(日)。

さくらフェスタ



4月7日、みなとみらいでは恒例のさくらフェスタが開催されました。



当日は強風が吹き荒れて、パレードに参加した人たちも歩きにくそう。それでもちびっ子たちはマスコットといっしょになって、体をいっぱいに使って元気に行進しました。

ありがとうございます
おかげさまで

藤棚新聞は10周年

2008年、それまで商店街学会(現在は活動休止中)は藤棚商店会、稲荷台小学校の先生方とともに地域の元気づくりをめざして、1年あまりに亘って勉強会を続けてきました。そして町内会のご協力も得られた8月に『地域の人びとのつながりをつくり、助け合いを図る』を目標にして藤棚新聞準備号を発行しました。

以来、商店街・自治会町内会・学校・福祉団体・病院や官公庁などに少しずつ範囲を広げて、隔月60回目の発行で10周年を迎えることができました。これはひとえに皆様方のご愛顧のおかげであり、こころから感謝申し上げます。

これからも、藤棚新聞の目標の実現を目指して、少しでもみなさまのお役にたてるように努力を続けてまいります。

どうぞご指導・ご鞭撻のほどをよろしくお願いたします。

Eメール : fujidananp@jcom.zaq.ne.jp
FAX : 045-895-0081

巻頭句には粗品を進呈。

投句—当季雑詠で一人2句まで—、氏名、連絡先を記載して。次回締切は五月二十日。

花冷えは、桜の咲く頃、急に冷え込むことを言う。この雰囲気が何代も続く「造り酒屋」の重厚な建造物を想像させて佳品。

《寸評》

花冷えの造り酒屋の重き門
ベイブリッジ今佐保姫の御座船が
雪しまく夜の交番赤色灯
長寿眉ハの字にしておでん酒
よちよちと緑に染まる老二人
なんとなく体調悪し梅の花
菜種梅雨三角窓の雨滴かな

三原利子
小野元夫
佐藤幸華
小野沢邦彦
笹川紀久子
荒川文字
矢島ともえ

藤棚俳壇・選者—三村風彦

地元で35年！親身な指導！

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

相談
無料

寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一 西区中央2-13-2
税理士 寺田悟史 伊勢新ビル2F
☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

藤棚新聞ではただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp